

みんなの願いは窓口無料 おすすめ会ニュース 15-9号

2015年4月21日(火)

発行：福祉医療給付制度の改善をすすめる会

<http://www.medical-post.net/fukushi/>

(長野市高田中村276-8：長野県社保協内)

子どもの医療費助成・国保国庫補助金削減見直し問題 厚労大臣「検討の場」設置を表明！

現在開会中の通常国会の本会議・各委員会では、主に日本共産党と公明党の国会議員が「子ども医療費の助成制度に対する国保の国庫補助金が減額される(「地単カット」)問題」について取り上げ、その「見直し」「中止」を要望してきました。

この問題は、かねて地方自治体や中央社保協・新婦人の会など市民団体、患者会などの当事者団体から相次ぐ「見直し」「中止」の要望が出されてきました。また、国会では日本共産党議員が度々国会質問などで取り上げ、その中止を求めてきました。

こうした中で、開会中の通常国会では、与党・公明党からも「見直し」要望の質問が出されようになり、今まで難色を示していた厚労省もようやくその対応に動き出しました。

3月17日参院予算委員会での公明党西田実仁議員の質問に、塩崎厚労大臣は「今後、少子社会における子ども医療費のあり方等を検討するための場を設けて、関係者を交えつつ、しっかり考えていきたい」と応じました。塩崎厚労大臣は、4月14日の参院厚労委員会での日本共産党の小池議員の質問に対しても「検討の場を設ける」と答弁しており、いよいよこの問題が動き出そうとしています。

この問題は、長野県当局や各自治体の担当者も窓口無料化を求める私たちの要望に対して、難色してきた主たる問題でもあり、重大関心事でした。

エ～！三重県議会（3月議会）でも子ども医療費窓口無料化の請願を採択されていました。

長野県と同じ自動給付方式を採用している三重県の保険医協会から長野県保険医協会を通じ、うれしいニュースが寄せられました。その内容は、以下の通りです。

「三重県議会は、三重県保険医協会が提出し、継続審議となっていた子ども医療費窓口無料化の請願が3月17日に本会議で採択しました。最大会派の新政みえから3人、第二会派の自民みらい5人、公明党1人が紹介議員になっています。採択に伴い、請願者への通知では処理経過及び結果の報告を知事に求めることとしています。東海地方では、三重県だけが窓口無料化を実施しておらず取り残されていましたが、窓口無料化に向けて動く可能性が高まりました。」

石川県、岩手県(自動給付方式)での窓口無料化実施への動き、長野県と同じ自動給付方式を採用している福井県の県議会決議に次ぐ三重県議会での決議。本当に取り残される長野県。先の県議会選挙による新しい変化を踏まえ、今年こそ、窓口無料化実現に向け、大きな県民運動起こしていきましょう！

福祉医療給付制度の改善をすすめる会 2015年度総会

日時：2015年5月16日(土) 13:00～16:00(予定)

場所：高校教育会館(長野市県町593)

内容：記念講演(講師：石川県社保協寺越事務局長)、年次総会

*昨年までの運動の到達を踏まえ、新たな県民運動の構築で窓口無料化へ